

裏磐梯エナガの会 探鳥会報告2011

【目的】 レンゲ・中瀬沼における野鳥状況について調査する

【結果】

- (1) 3月の東日本大震災の影響で「えながの会」の活動を縮小した
- (2) 4月末に被災者の為の探鳥会を開催し活動を始めた
- (3) 夏鳥は飛来数も子育ての様子も例年通りであった
- (4) 夏鳥の代表格であるカッコウも例年通り5月の中旬に入ってきた
- (5) 夏鳥のアカショウビンも子育ての繁殖状況は例年通りであった
- (6) 大震災や原発の影響も懸念されたが春の渡りや秋の渡りに関してもほぼ例年通り
- (7) 10月の後半からの冬鳥の飛来数は近年にない激減となった
- (8) 冬鳥として一般的なマヒワ、ウソ、に関してはほとんど確認出来ない日々が続いた
- (9) 2月の中頃にやっとヒレンジャク、マヒワが確認できた
- (10) 今年の冬の特徴としてアトリが活発に餌をついばむ姿が目立った
- (11) 3月に入ってから暖かい日が続いたので鳥たちも活発に動き始めている様子
- (12) ウソに関しては未だに確認出来ていない

【考察】

- (1) 新聞やテレビなどでは冬鳥の激減の原因を大震災や原発などの影響があるのでは？と言っているが今年は北の方では暖かかったので食料事情が良かった事が原因ではないか
- (2) 冬の偏西風の蛇行などの気象条件や冬先の爆弾低気圧が少なかったので冬鳥の飛来が少なかったのではないか
- (3) 基本的に冬鳥の当たり外れは顕著だが、今回の冬シーズンの激減数は今までにない経験であった

【概要】

- (1) 実施期日
 - ※第1回 平成23年4月22日
 - ※第2回 平成23年5月17日
 - ※第3回 平成23年6月14日
 - ※第4回 平成23年11月7日
 - ※第5回 平成23年11月29日
 - ※第6回 平成24年1月11日
- (2) 調査者
裏磐梯エナガの会